



5月 給食だより

光徳保育園

☆ 端午の節句

○端午の節句

5月5日は「端午の節句」です。古来中国では季節の変わり目である5月は病気や災いが増えることから、邪気を払うとされていた「菖蒲」(しょうぶ)を用いた行事が行われていました。

門に「菖蒲」を飾ったり、「菖蒲酒」を飲んだり、菖蒲の根や葉を入れて沸かす「菖蒲湯」に入ったりするのも健やかな日々への祈りが込められています。

日本へ伝わると、菖蒲が武勇を重んじる「尚武」と同じ読みであることから、やがて武家の男子の成長と健康を祝う日へと変わってきたとされています。

○鎧兜・鯉のぼり

鎧兜は身を守る道具であることから、子どもを災いから守ってもらう意味を込めて飾ります。武家の間で鎧兜を虫干しするために、表に出しておいた時期と重なったことがきっかけという説もあります。

鯉のぼりは中国の登竜門という故事に由来し、「子どもが立派に育つように」という願いが込められています。

○子どもの日(端午の節句)の行事食



◎ちまき(粽) もともとは笹の葉ではなく茅(ちがや)の葉でまいていたので「茅巻き(ちまき)」と呼ばれるようになったと言われています。端午の節句にまつわる中国の故事に由来し、中国から伝わりました。茅は病や災難を払う葉とされていました。現在はもち米ではなく、いろいろや葛を包んだ和菓子もあります。

◎柏餅 「柏の葉」であん入りの餅を包んだ和菓子です。柏の葉は新葉が出るまで古い葉が落ちない性質があることから「子孫繁栄」の願いを込めて、江戸時代から食べられるようになりました。

◎草餅 ヨモギなどの葉を入れてついたお餅です。古来、香りの強いヨモギのような植物は邪気や魔除けの力があると考えられていました。

◎筍 たけのこは成長が早いことから、「たけのこのように早く大きくなってほしい」という願いを込めて食されています。

◎カツオ・ブリ カツオは「勝男」に通じて、ブリは成長するにつれて名前が変わることから「出世魚」としてお祝いの日に関われています。また、鯉のぼりにかけて鯉なども食べられることがあります。

